

第9期東京都高齢者保健福祉計画の理念・重点分野（案）について

介護保険制度改正の動向

■基本的考え方

- ・団塊の世代が全員75歳以上となる2025年を迎える
- ・高齢者人口がピークを迎える2040年は、85歳以上人口が急増
要介護高齢者の増加、生産年齢人口の急減の見込み
- ・中長期的な観点から施策や目標の優先順位を検討し計画策定

■見直しのポイント

1. 介護サービス基盤の計画的な整備
✓ 地域の実情に応じた基盤整備 ✓ 在宅サービスの充実
2. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組
✓ 地域共生社会の実現 ✓ 医療・介護情報基盤の整備
✓ 保険者機能の強化
3. 介護人材確保及び介護現場の生産性向上
✓ 介護人材確保に向けた取組の総合的な実施
✓ 生産性向上に資する支援・施策の総合的な推進
✓ 介護サービス事業者の財務状況等の見える化の推進

都の総合計画

「未来の東京」戦略<2021年3月 策定>

戦略ビジョン4 長寿（Chōju）

高齢者が人生100年時代に元気で活躍し、心豊かに暮らす東京

【戦略4 長寿社会実現戦略】

- ・高齢者が元気に暮らし、活躍できる地域づくりを進める
- ・一人ひとりの「働く」「学ぶ」「地域活動」を応援する
- ・認知症に向き合い、「共生」と「予防」の両面の対策を進める

【Version up 2023】

- ・区市町村の先駆的・分野横断的取組への支援を一層推進
- ・あらゆる場面における高齢者の社会参画を推進
- ・高齢者のQOLを更に向上

第9期計画改定の方向性

第8期計画期間中に推進してきた、介護予防・フレイル予防と社会参加や介護サービス基盤の整備、介護人材対策を始めとする各取組について、「高齢者施策におけるDXの更なる推進」といった視点を踏まえ、中長期的な観点からブラッシュアップしていく。

【 第9期計画の理念（案） 】 ※継続性の観点から第8期と同内容とする。

「地域で支え合いながら、高齢者がいきいきと心豊かに、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる東京の実現」

地域で支え合いながら、高齢者が、

①経験や能力を生かして居場所と役割を持って、いきいきと活躍し、心豊かに暮らし、

②自らが望む暮らし方を主体的に選び、安心して暮らし続けることができる

東京の地域づくりを地域特性に応じて推進していく。

【7つの重点分野とそれを下支えする2つの取組】

＜国の指針、委員意見等を踏まえた検討のポイント＞

豊
か
い
き
に
こ
い

①介護予防・フレイル予防と社会参加の推進

- ・介護予防・フレイル予防の推進（認知度向上）
- ・シニア・プレシニア世代の継続的な社会参加の促進

②介護サービス基盤の整備と円滑・適正な制度運営

- ・地域の実情を踏まえた基盤整備（特養：利用状況、利用者負担、医療的ニーズなども勘案）

③介護人材対策の推進

- ・確保・定着の取組推進（訪問介護職員、ケアマネ、外国人）
- ・生産性向上に資する支援・施策の総合的な推進（デジタル機器等導入後の活用支援）

④高齢者の住まいの確保と福祉のまちづくりの推進

- ・住まいと生活の一体的支援（高齢者の居住支援）
- ・福祉のまちづくりの推進（バリアフリー）

⑤地域生活を支える取組の推進

- ・家族介護者支援（認知症高齢者家族、ヤングケアラー）
- ・高齢者虐待防止の一層の推進

⑥在宅療養の推進

- ・在宅医療・介護連携の推進（多職種連携、24時間診療体制や後方支援病床の確保、ACP）
- ・訪問看護ステーションへの支援

⑦認知症施策の総合的な推進

- ・認知症基本法を踏まえた施策の推進（普及啓発、認知症の人と家族を支える地域づくり（チームオレンジ）、認知症サポート医の活動促進、早期診断・早期対応）

①保険者機能強化と地域包括ケアシステムのマネジメント

- ・地域の実情に応じたきめ細かな保険者支援の実施
- ・地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備等

②高齢者施策におけるDXの推進 **【新規】**

- ・介護事業所・施設におけるDXの更なる推進
- ・高齢者のICT活用促進（デジタルデバイド対策）

安
心
し
て
暮
ら
し
続
け
る

下
支
え
す
る
取
組